

第5号  
児童数 311名  
(男182名女129)



# のぶっ子

Tel :0299-66-2076

Fax:0299-66-4692

URL:https://www.itako-school.jp/nobukata-el/

〒311-2442  
潮来市小泉2090

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば: あいあい(I.I)大作戦 スローガン: やさしく かしこく たくましく



4年生が鹿島浄水場に行きました。職員の方々のご苦勞を知り、大切な水を無駄遣いしないようにしたいとの考えをもちました。



低学年がこもれび森のイバライドに遠足に行ってきました。キューブキャンドルやお絵かき招き猫、動物のえさやり体験などたくさんの思い出ができました。お昼は、お家の人が用意してくださったお弁当に舌鼓をうちました。ありがとうございました。



6年生が、牛乳普及協会のご協力で、出前ミルク講座を行いました。ミルクがゆなど3品を調理し、美味しく頂くことができました。



4年生が、北浦湖岸自然を守る会などのご協力で水質検査を行いました。水が汚れる原因などを総合学習で調べていくことになりました。



6年生が、税理士の西谷先生をお招きして租税教室を行いました。税金の種類や海外との比較、使い道など大切なことを学びました。



2年生がまちたんけんに行ってきました。延方駅や郵便局、吉田神社などを回り、写真を撮ったり、質問に答えて頂いたりしました。



7月に行われる全日本中学選手権競漕大会で、全国から来潮する選手を歓迎するために、全校児童の手形を押した応援鯉のぼりを作成しました。



水泳学習の前に、講師の先生をお招きして、救急救命講習を行いました。心臓マッサージの仕方やAEDの使い方などを確認しました。

## 『大ピンチずかん』

を読みました。妻が評判を聞きつけて購入した絵本です。この絵本では、子どもが日常出会うさまざまな「ピンチ」を、「大ピンチレベル」という形で、軽いものから順番に紹介しています。さらに、「なりやすさ」のレベルも星の数で5段階に分けて表現されており、ピンチの頻度や深刻さがひと目でわかるようになっています。

少し内容を紹介すると(ネタバレになりますが)、例えば「ぎゅうにゅうがこぼれた」では、牛乳を注ぎすぎてテーブルにこぼしてしまい、「もったいない」と思ってすすって飲もうとした結果、頭でコップを倒してしまうことで、ピンチがさらに拡大してしまいます。また「アイスがとけてきた」では、「ひじまでたれてきた」「ぜんぶおちた」と、どんどんピンチが進んでいきますが、最後には思わぬ大逆転が待っています。

読み進めながら、「あるある! こんな大ピンチ」と共感しつつ、自分の子ども時代の「ピンチ」を思い出しました。小学校低学年の頃、国語の宿題で「詩をつかってノートに書いてくる」という課題が出されたことがありました。当時はまだ連絡帳のような便利なシステムがなく、女子の中にはメモ帳に宿題を書き写している子もいましたが、男子は記憶だけが頼り。案の定、僕は宿題を忘れてしまいました。しかし、翌日の国語の授業で、先生が「宿題をやってきた人?」と声をかけたとき、忘れたことが言い出し辛く、右手を上げてしまったのです。その後、次々と友だちが詩を発表し、先生に辛口コメントをもらうなか、ついに僕の番が来てしまいました。「ええいっ」と気合を入れて、真っ白なノートを広げ、「たま(当時飼っていた猫)が布団にもぐり込んでくる あったかいな くすぐったいな…」というような詩を発表したところ、意外にも、先生はこの詩を大絶賛。とても複雑な気持ちになったのを覚えています。休み時間になってから、こっそりとその詩を思い出しながらノートに書き写したのは言うまでもありません(※よい子はマネしないでね)。

『大ピンチずかん』の著者も書いているように、私たちの人生は、ある意味「ピンチの連続」です。でも同時に、「ピンチはチャンス」という言葉もあります。のぶっ子のみなさんには、これから次々とやってくるピンチを乗り越えて、「やさしく、かしこく、たくましく」成長して行ってほしいと思います。

